

## 雙聯學制申請、甄選暨抵免學分規定

108年6月4日系課程規畫小組會議通過

108年6月20日系務會議通過

109年6月9日系課程規劃小組會議通過

109年6月18日系務會議通過

日本語文系(以下簡稱本系)為促進與日本高知縣立大學文化學院(以下簡稱高知縣立大文化學院)學術交流,辦理雙聯學制合作,相關甄選、申請及學分抵免規定如下:

### 一、申請資格:

1. 須為本系四年制學士班在學學生,且在本系修業時間需滿五學期。
2. 在校期間不得曾為交換留學生及進行「學期間實習」。
3. 成績及語言能力規定:
  - (1) 歷年學業成績總平均須達 80 分(含)以上(分數認列至個位數,小數點後不取算)。
  - (2) 申請當學期及歷年操行成績總平均須達 80 分(含)以上(分數認列至個位數,小數點後不取算),且在校期間不得有小過(含)以上之懲處紀錄,缺曠情形將列入書審評分考量。
  - (3) 需通過 JLPT 日本語能力試驗 N2(含)以上。
4. 需參加並通過本系舉行之選拔考試(依當年度公告為主)。

### 二、申請資料:

如有缺件,或各項資料有誤或不完整者,恕不受理

1. 雙聯學制申請單
2. 履歷表(日文撰寫,需包含:自傳、學習計畫、校內外具代表性國際活動參與經驗、獲獎紀錄等,履歷表頁數以 A4 版面五頁為限,請簡要重點式擇優呈現)
3. 教務處核發之中文歷年成績單
4. JLPT 日本語能力試驗通過證書及成績單
5. 英文檢定證明影本(選繳)
6. 家長同意書
7. 護照影本

### 三、修業時間:

本系學生赴日進行雙聯學制之年級為大學部四技 3 年級第二學期起至 5 年級第一學期止,共計 4 個學期。

### 四、甄選時間:

每學年度第一學期進行徵選,同學年度第二學期赴日修讀。確切徵選時間由本系公告。

五、徵選名額：依當年度公告為主

六、評選標準及甄選流程：

1. 第一階段書面審查項目：

- (1) 學業成績
- (2) 操行成績
- (3) 日語能力檢定成績
- (4) 英語能力檢定成績

依上述審查標準進行資料審查，通過書審者，方能參加面試。

2. 第二階段日文面試項目：

- (1) 學習規劃
- (2) 口語表達能力
- (3) 儀表態度
- (4) 其他（例如參與國際活動經驗..等）
- (5) 其他面試注意事項：

A. 面試日期及地點由本系公告於系網，面試未到視同放棄。

B. 面試時間若與個人課程衝堂，得依本校請假程序申請「公假」，惟申請同學仍應注意個人缺課及請假時數限制等規定，並須依課堂規範，事先向任課教師完備請假程序。

3. 書審及面試加總即為總成績，總成績相同時以「面試」成績高低排名。

七、錄取及遞補

1. 錄取結果經公告後，錄取學生須依規定時間內繳交《意願切結書》或《放棄聲明書》至本系辦公室，逾期或未繳交者，視同放棄，恕無法保留錄取資格或延後至下一學期修讀。
2. 在本校及高知縣立大文化學院執行入學手續時，錄取生若因不可抗拒因素須放棄，須提出相關證明方得申請。
3. 雙聯申請是否被接受，最終決定權在日本校方。獲本系公告取得錄取資格之學生，僅代表得到提名資格，仍須經過日本校方決審及核發入學許可後，才可修讀。

八、學費&學分抵免：

1. 本系錄取雙聯學制之學生須於本校辦理註冊手續，並繳交全額學雜費，第四學期則辦理延修以保留學籍。因未繳交學雜費而遭註銷學籍，導致學分無法抵免及任何相關情事者，須自行負責。
2. 學分抵免：
  - (1) 日文相關課程(含商業與翻譯等專業課程)皆須以高階之日文課程始可抵免。其餘課程須以日文授課之課程始可抵免。
  - (2) 系訂選修學分之抵免，學生可抵免各類系訂選修課程，不受「語言與文化課程」、「翻譯課程」、「商業實務課程」之學分數限制，系訂選修總學分達到系

訂之學分數即可。

- (3)一律不得申請抵免實習學分。
- (4)畢業專題：申請抵免「畢業專題」為必修學分者，請與所屬「輔導老師」確認抵免規定。
- (5)雙聯學制學分對應表如附表。
- (6)取得高知縣立大文化學院之畢業證書後，請於該校學期結束後一個月內辦理學分抵免、取得文藻外語大學畢業證書，以完成雙聯修讀。  
申請須備齊以下資料：
  - A. 「抵免學分單」
  - B. 「雙聯學制之入學許可」影本
  - C. 「高知縣立大文化學院-學士畢業證書」影本
  - D. 「高知縣立大文化學院-歷年成績單」正本
  - E. 「高知縣立大文化學院-學年度行事曆」
  - F. 授權個人資料蒐集、處理及使用同意書
  - G. 返國心得報告A4五頁以上(需附照片)
  - H. 提供在日本6張以上之生活照電子檔至[JP00@mail.wzu.edu.tw](mailto:JP00@mail.wzu.edu.tw)

## 九、注意事項

### 1. 修讀雙聯學制學生應履行義務：

- (1)學生須恪遵文藻及高知學校校規，以保持本校良好聲譽，違者將視情節之嚴重性依校規懲處，若有取得校內獎助學金者，將追償全額獎助學金。
- (2)本系國際交流助理將輔導學生向高知縣立大文化學院申請入學許可，但學生仍須自行辦理簽證、機票、住宿、選課、學分抵免、當地交通、海外保險等個人事宜，如無獨立處理上述事務之能力或意願者，請勿申請。
- (3)高知縣立大文化學院並無責任保證提供接機服務、住宿安排，若高知縣立大文化學院無法安排，學生須自行前往學校報到，及處理租屋相關事宜。

### 2. 出國前：

- (1)須參加本系舉辦之行前說明會，以了解赴日雙聯之注意事項。
- (2)具役男身份者，須於出國前自行洽詢本校學生事務處生輔組，並依規定完成役男緩徵手續，避免因兵役問題影響雙聯計畫。雙聯結束後，亦應返校，不得滯留國外。如有違反，須自負一切法律責任，本系得視情節之嚴重性，予以適當懲處。
- (3)需辦理減免或就學貸款者，應於出國前自行洽詢本校學生事務處生輔組完成相關手續之辦理。
- (4)除學生平安保險外，學生出國前應自行購買足額之保險（含醫療、意外、海外急難救助等），若高知縣立大文化學院另有提供保險，亦可選擇抵達當地後再購買。
- (5)除因不可抗力情事，且可檢附具體證明，否則繳交《意願切結書》後即不得放棄資格或縮短修讀期間。如有違反，本系得視情節之嚴重性，處以申誡以上懲戒，且不得參加下一學期雙聯學制甄選計畫。

### 3. 進行雙聯學制期間：

- (1)抵達高知縣立大文化學院二週內，須按規定回報日文系，並請密切與本系保持聯繫，留意自身安全問題。
  - (2)本系學生若因各種因素無法繼續在高知縣立大文化學院之學業，須請高知縣立大文化學院開具證明，並以取得之學分返回本系辦理抵免，若符合本校畢業規定之學分數，可取得本校學位證書。若於第一學年未結束即中斷學業，則須回校辦理休學，以待復學繼續本校學業。若無正當理由自行中止或提前返國者，本系得視情節之嚴重性，處以申誡以上懲戒。
4. 結束返國：
- (1)雙聯學制計畫結束後，須按規定返回文藻，不得滯留國外或擅自延長雙聯時間。
  - (2)雙聯學制計畫結束返國後，須按規定繳交「返國報告書」，以及其他抵免相關資料。
  - (3)學生返國繳交之心得（含照片），本系有權在保護個資條件下，在本系網站公開及使用於各種相關活動文宣用品上。
5. 如未遵守上述規定，本系得視情節之嚴重性，予以適當懲處。其他未盡事宜，本系得依校規辦理之。

**上述各項規定及條文，本系保有最終修改權利，並可依實際狀況予以增刪、修訂或變更本甄選簡章內容。**

※選修科目僅供參考，需以當年度開出之課程為準。

### 雙聯學制學分對應表

日本高知縣立大學文化學院		文藻外語大學日本語文系
科目名稱	學分數	
英語コミュニケーションⅠA～ⅠD	1	<p>《包裹式抵免》</p> <p>本系學生至高知縣立大文化學院就讀期間，於該校至少修讀64學分，抵免學分數如下：</p> <p>大三英文：4學分            校共同必修：通識課程2學分            院共同必修：2學分            系訂必修：6學分            系訂選修：30學分            一般選修：20學分</p> <p>*出國前便已修畢應修之通識課程者，系訂選修之抵免學分則為32學分。</p> <p>※若有任何變動，以最新公告為準。</p>
英語コミュニケーションⅡ基礎プレゼンテーション	1	
英語コミュニケーションⅡ応用プレゼンテーション	1	
英語コミュニケーションⅡ基礎エッセーライティング	1	
英語コミュニケーションⅡ応用エッセーライティング	1	
英語文法論	2	
英語ライティングⅠ	2	
英語ライティングⅡ	2	
英語音声学	2	
英語スピーキングⅠ	2	
英語スピーキングⅡ	2	
英語学概論	2	
英語学専門演習Ⅰ	1	
英語学専門演習Ⅱ	1	
国際日本学Ⅰ	2	
国際日本学Ⅱ	2	
比較日本学Ⅰ	2	
比較日本学Ⅱ	2	
国際関係論	2	
国際開発論	2	
国際文化専門演習Ⅰ	1	
国際文化専門演習Ⅱ	1	
日本語史	2	
日本語音声学・音韻論	2	
日本語学講読	2	
日本語文章構成論	2	
国語教育学講読Ⅰ	2	
国語教育学講読Ⅱ	2	
日本語教育学概論	2	
日本語教育教材論	2	
日本語学専門演習Ⅰ	2	
日本語学専門演習Ⅱ	2	

※選修科目僅供參考，需以當年度開出之課程為準。

基礎古典	2
日本文学史（古典）	2
日本文学史（近代）	2
古典文学基礎講読Ⅰ	2
古典文学基礎講読Ⅱ	2
古典文学講読Ⅰ	2
古典文学講読Ⅱ	2
近代文学講読	2
現代文学講読	2
日本文学専門演習Ⅰ	1
日本文学専門演習Ⅱ	1
書道	2
地域文化論	2
日本思想史	2
日本文化論	2
土佐地域文化資源論（歴史）	2
土佐地域文化資源論（方言）	2
文化政策論	2
男女共同参画社会参画社会論	2
地域防災論	2
住文化論	2
地域文化専門演習Ⅰ	1
地域文化専門演習Ⅱ	1
地域づくり論	2
地域産業論	2
地域分析論	2
地方自治論	2
NPO論	2
地域づくりフィールドスタディⅠ	2
地域づくりフィールドスタディⅡ	2
地域づくり専門演習Ⅰ	1
地域づくり専門演習Ⅱ	1
観光文化論Ⅰ	2
観光文化論Ⅱ	2
景観文化論	2
観光と自然環境Ⅰ	2
観光と自然環境Ⅱ	2
観光文化フィールドスタディⅠ	2
観光文化フィールドスタディⅡ	2
観光フィールド専門演習Ⅰ	1

※選修科目僅供參考，需以當年度開出之課程為準。

觀光フィールド専門演習Ⅱ	1
観光学総論	2
観光まちづくり論Ⅰ	2
観光まちづくり論Ⅱ	2
観光産業論	2
観光企画論	2
観光まちづくりフィールドスタディⅠ	2
観光まちづくりフィールドスタディⅡ	2
観光産業専門演習	1
観光企画専門演習	1
文化と統治システム	2
行政と法文化	2
現代法思想論	2
情報化社会と法文化	2
生命倫理と法	2
平和構築論	2
現代法文化専門演習Ⅰ	1
現代法文化専門演習Ⅱ	1
生活と法文化	2
文化と人権	2
ワーク・ライフ・バランスと法	2
労働契約と法文化	2
社会保障と法文化	2
家族関係と法文化	2
生活法文化専門演習Ⅰ	1
生活法文化専門演習Ⅱ	1
ビジネスリテラシー	2
日本語表現法	2
科学と人間	2
基礎化学	2
基礎生物学	2
物理と自然法則	2
地球の科学	2
数学入門	2
基礎統計学	2
社会調査基礎論	2
日本国憲法	2
法学	2
政治学	2
経済学	2

※選修科目僅供參考，需以當年度開出之課程為準。

倫理学	2
哲学	2
文学	2
基礎ジェンダー学	2
心理学	2
生活と社会福祉	2
現代生活論	2
環境と健康と安全	2
自然災害と防災の科学	2
平和論	2
現代人権論	2
ジェンダーとキャリア	2
労働と人権	2
地域とグローバリゼーション	2
家族関係論	2
地域メディア論	2
異文化理解海外フィールドワーク	2
健康スポーツ科学Ⅰ	1
健康スポーツ科学Ⅱ	1
対人関係とメンタルヘルス	2
健康とヘルスプロモーション	2
栄養と健康	2
地域学概論	2
土佐の歴史と文化	2
土佐の経済とまちづくり	2
土佐の自然と暮らし	2
土佐の食と健康	2
専門職連携論	2
チーム形成論	2
基礎演習(リ)	1
日本語Ⅰ(リ)	1
日本語Ⅱ(リ)	1
情報処理演習(リ)	1
文献調査論(リ)	2
基礎読書法(エ)	2
文化哲学(エ)	2
文化人類学(エ)	2
文化と権利(エ)	2
文化と裁判(エ)	2
公共哲学(エ)	2



※選修科目僅供參考，需以當年度開出之課程為準。

民俗学（エ）	2	
文化と経済（エ）	2	
日本文学概論（エ）	2	
言語学概論（エ）	2	
日本語学概論（エ）	2	
グローバルスタディー（エ）	2	
異文化コミュニケーション（エ）	2	
社会調査論（エ）	2	
地域学共生フィールドワーク（エ）	1	
文化学課題研究ゼミナールⅠ（エ）	1	
文化学課題研究ゼミナールⅡ（エ）	1	
文化学課題研究ゼミナールⅢ（エ）	1	
文化学課題研究ゼミナールⅣ（エ）	1	
キャリアデザイン論（キ）	2	
キャリア形成論（キ）	2	
比較言語研究	2	
対照言語学	2	
言語教育実践論Ⅰ	2	
言語教育実践論Ⅱ	2	